

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年 8月20日

計画の名称	みやしろの水の安全・安心整備		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	宮代町
計画の目標			

下水道整備を行ない、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することにより、町の将来都市像の「水面に映える文化都市」を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 下水道による都市浸水対策達成率を85.3%（H22）から91.8%（H26）に増加させる。
- ② 下水道処理人口普及率を70.1%（H22）から70.5%（H26）に増加させる。
- ③ 供用施設の施設改築、更新の実施
- ④ ポンプ場における長寿命化策定率を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
① 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積301.4 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積353.4 (ha)	85.3%	91.7%	91.8%							
② 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口23,383 (人) / 総人口33,153 (人)	70.1%	70.3%	70.5%							
③ 供用施設の適正な改築更新 第一中継ポンプ場の改築・宮代第2号汚水幹線の更新 2箇所/2箇所、1地区/1地区	20.0%	60.0%	100.0%							
④ ポンプ場における長寿命化策定率 長寿命化計画策定済みのポンプ場数0箇所/長寿命化計画を策定すべきポンプ場2箇所	(H25当初) 0.0%	65.0%	100.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	792百万円	A	792百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
宮代町下水道事業審議会	平成27年8月
	公表の方法
	宮代町ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
中央排水区																	
A1-1-1	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	雨水	新設	中央第14排水区（浸水対策）	中央第14排水路整備 L=1.1km	宮代町						215	
A1-1-2	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	雨水	新設	中央第8排水区（浸水対策）	中央第8排水路整備 L=0.3km	宮代町						70	
中川処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	汚水	新設	宮代第6号汚水幹線（未普及解消）	L=5.8km	宮代町						436	
A1-2-2	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	ポンプ場	改築	第一中継ポンプ場改築	屋根防水工更新	宮代町						9	
A1-2-3	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	汚水	改築	宮代第2号汚水幹線長寿命化事業	管きよの更新	宮代町						32	長寿命化
A1-2-4	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	ポンプ場	改築	ポンプ場長寿命化計画策定	ポンプ場長寿命化計画の検討	宮代町						30	長寿命化
合計															792		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25		
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①中央第14排水路、中央第8排水路を整備したことにより下水道による都市浸水対策達成率が増加した。 ②第6号汚水管線等を整備した結果、下水道処理人口普及率が増加した。 ③第1中継ポンプ場の更新工事や第2号幹線の管渠を更新したことにより、下水道施設の安全性が向上した。 ④ポンプ場における長寿命化計画を策定したことにより、下水道事業運営の安全性、効率性が向上した。</p>									
II 定量的指標の達成状況	指標①（都市浸水対策達成率の割合）	最終目標値	91.80%	目標値と実績値に差が出た要因	町単独事業においても、他の整備すべき路線の整備を進めたため。						
		最終実績値	99.10%								
	指標②（下水道処理人口普及率の割合）	最終目標値	70.50%	目標値と実績値に差が出た要因	町単独事業においても、他の整備すべき路線の整備を進めたため。						
		最終実績値	70.80%								
	指標②（供用施設の適正な改築更新の割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成						
		最終実績値	100%								
指標③（ポンプ場における長寿命化策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成							
	最終実績値	100%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）											

3. 特記事項（今後の方針等）

公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（H27年度からH31年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。
 平成27年度以降、認可区域の管渠整備は終了するが、中継ポンプ場の老朽化が進んでいるため長寿命化対策事業を実施していく。